

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会  
地上業務委員会(第28回) 議事概要 (案)

1 開催日時

平成26年1月29日(水) 15:00 ~ 17:30

2 場所

総務省11階 11階会議室

3 出席者(敬称略、順不同)

[専門委員]

三瓶 政一(主査)、足立 朋子、飯塚 留美、小川 博世、川口 さち子、佐藤 孝平、  
高野 祐美子、中村 勝英、橋本 明、吉田 英邦

[関係者]

水池 健、菅田 明則、神原 浩平、久代 雄一郎、石川 禎典、礪 琢己、本多 美  
雄

[事務局]

森下、高橋、諏訪、五十嵐

4 配付資料

- |          |  |
|----------|--|
| 資料地-28-1 | 地上業務委員会(第27回)議事要旨(案)                                 |
| 資料地-28-2 | ITU-R SG5 WP5D第17回会合報告書                              |
| 資料地-28-3 | ITU-R JTG4-5-6-7第4回会合報告書                             |
| 資料地-28-4 | ITU-R SG5 WP5D第18回会合及びJTG4-5-6-7第5回会合への日本寄与文書<br>(案) |
| 資料地-28-5 | ITU-R SG5 WP5D第18回会合及びJTG4-5-6-7第5回会合への対処方針(案)       |
| 参考資料1    | ITU-R SG5 WP5D第18回会合の開催案内                            |
| 参考資料2    | ITU-R JTG4-5-6-7第5回会合の開催案内                           |
| 参考資料3    | ITU-R SG5 WP5D第18回会合の日本代表団一覧                         |
| 参考資料4    | ITU-R JTG4-5-6-7第5回会合の日本代表団一覧                        |
| 参考資料5    | 地上業務委員会構成員名簿   |

## 5 議事概要

### (1) 地上業務委員会（第27回）の議事要旨について

#### 【資料地-28-1】

地上業務委員会（第27回）の議事要旨について、事務局から説明があった。

なお、修正項目がある場合は2月5日（水）までに事務局へ連絡する旨了承された。

### (3) ITU-R SG5 WP5D第17回会合及びJTG4-5-6-7第4回会合の報告について

#### 【資料地-28-2、資料地-28-3】

事務局から、ITU-R SG5 WP5D第17回会合及びITU-R JTG4-5-6-7第4回会合の報告があり、下記の質疑の後、承認された。

三 瓶 主 査：JTG4-5-6-7の報告書の最後に入力文書のリストがあるが、番号のみの記載となっている。タイトルも記載していただきたい。

事 務 局：承知した。

### (4) ITU-R SG5 WP5D第18回会合及びJTG4-5-6-7第5回会合への日本寄与文書案について

#### 【資料地-28-5-1】

菅田氏から「“Global trends in IMT” へ向けた作業文書 [IMT. HANDBOOK] へのテキスト案及び改定案の提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋 本 委 員：本ハンドブックについては毎回日本から寄書入力をしている。完成度はどのくらいか。

菅 田 氏：30-40%と推察する。

橋 本 委 員：本ハンドブックの責任者がいたほうがいいのではないか。作業のやり方についても検討してほしい。

菅 田 氏：承知した。

#### 【資料地-28-5-2】

剛氏から「暫定レポート改定案ITU-R M. 2039の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三 瓶 主 査：本提案はI/Nとして-20dBを提案しているが、根拠を問われたらどうするのか。

橋本構成員：今回I/N-20dBという他業務の値をそのまま用いる提案であり、技術的に可能かどうかは今後守られる側から検証されるであろう。

【資料地-28-5-3】

石川氏から「IMT-2000文書、IMT-ADV文書に関する更新提案」について説明があり、特段の質疑はなく承認された。

【資料地-28-5-4】

本多氏から「PDNレポート M. [IMT. FUTURE TECHNOLOGY TRENDS]開発のための方法および作業計画の提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、エディトリアルな修正を施し、承認された。

橋本委員：CGIはshare pointかemail reflectorどちらを用いるのか。  
検討して現地で事務局に伝える必要がある。

本多氏：承知した。

橋本委員：visionから分割した部分についての議論はどうするのか。

本多氏：分割した内容は現在1つの文書として存在しているが、議論はこれからである。

【資料地-28-5-5】

本多氏から「PDN Report M. [IMT. FUTURE TECHNOLOGY TRENDS]作業文書の構成変更提案」について説明があり、特段の質疑はなく承認された。

【資料地-28-5-6】

硯氏から「WRC-15議題1.1の暫定CPMテキスト案に向けた作業文書への修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、エディトリアルな修正を施し、承認された。

橋本委員：4400-5000MHzについて、is used for IMTは確実にないので、is planned for use for IMTにしたほうがいいだろう。

硯氏：承知した。

三瓶主査：本寄与文書での提案が一例であることを明記したほうがわかりやすいであろう。

硯氏：承知した。

【資料地-28-5-7】

碓氏から「1452-1492MHzにおけるIMTとBSS（放送衛星業務）の共存に関する暫定新レポート作業文書の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後承認された。

三 瓶 主 査：BSSがIMTに与える影響について議題1.1で検討してよいのか。  
碓 氏：あるpfd値を決めてその範囲で行うことはBSS側にもメリットがあり、問題ないと考える。

【資料地-28-5-8】

碓氏から「暫定新報告案ITU-R RS. [EESS 1.4GHZ]の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、以下の質疑応答の後承認された。

三 瓶 主 査：TABLE 6の値が線形でないのは何故か。  
碓 氏：機器のばらつきの可能性もあるが設計上の理由があるか確認したい。

【資料地-28-5-9】

碓氏から「暫定新報告案ITU-R RA. [RAS-IMT]作業文書の修正」に関する寄与文書案について説明があり、特段の質疑はなく承認された。

【資料地-28-5-10】

碓氏から「1400-1427MHzのRASと1.4/1.5GHzのIMTを考慮した移動業務との両立性」に関する寄与文書案について説明があり、下記質疑の後、エディトリアルな修正を施し承認された。

三 瓶 主 査：不要発射の基準として-65 dB/27 MHzを提案しているが数値の根拠が必要になろう。  
橋 本 委 員：守る側は厳しい基準を主張してくると考えられる。対処について検討しておく必要がある。  
碓 氏：御指摘踏まえて検討する。

【資料地-28-5-11】

菅田氏から「WRC-15議題1.1における1 427.9-1 462.9MHz and 1 475.9-1 510.9MHz帯のIMTと1400-1427MHzのEESSとの両立性に関する考察」に関する寄与文書案につい

て説明があり、エディトリアルな修正を施し承認された。

【資料地-28-5-12】

剛氏から「暫定新報告案 ITU-R [C-BAND DOWNLINK]に向けた作業文書の改訂提案」に関する寄与文書案について説明があり、エディトリアルな修正を施し承認された。

【資料地-28-5-13】

菅田氏から「JTG 4-5-6-7議長報告Annex 7のAttachment 5における衛星に関するCPMレポート案へ向けた作業文書案に対する提案テキスト」に関する寄与文書案について説明があり、下記コメントを踏まえ、承認された。

橋 本 委 員：proposalにの記載が慎重すぎると感じる。簡略化してはどうか。

菅 田 氏：御指摘踏まえて修正する。

【資料地-28-5-14】

剛氏から「衛星業務関連のCPMテキスト案の作業文書うち3 400-4 200 MHz及び4 500-4 800 MHzの周波数帯への修正提案」に関する寄与文書案について説明があり、下記質疑の後、承認された。

三 瓶 主 査：国境での技術的検討はこれまでされているのか。

菅 田 氏：国境でのpfd規制値はすでに存在している。

【資料地-28-5-15】

久代氏から「新レポート草案 ITU-R M./BT. [IMDTTBSHARECOMPAT]の作業文書の改訂提案470-694/698 MHzにおけるデジタルテレビ放送とIMTの共用・両立性検討」に関する寄与文書案について説明があり、エディトリアルな修正を施し承認された。

(5) ITU-R SG5 WP5D第18回会合及びJTG-4-5-6-7第5回会合への対処方針案について

【資料地-28-5】

事務局より、ITU-R SG5 WP5D第18回会合及びJTG-4-5-6-7第5回会合への対処方針(案)について説明が行われ、承認された。

(6) その他

修正の必要がある寄与文書については、1月31日（金）17：00までに事務局に提出することになった。

また、承認された寄与文書について、大きく主旨の変更がない限りは、文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。

以上